

トピックス

● 中瀬製錬所の受電設備の更新

5月に中瀬製錬所(兵庫県養父市)の高圧受電設備の老朽化対策で更新を行いました。元の建屋は木造で1939年に建設され、地盤の問題もありましたので取り壊し、新たな場所に保守管理性の良いキュービクル式の設備を設置しました。電力の安定供給は生産設備の安定稼働に貢献し、生産性の向上が期待されます。

下期には三酸化アンチモンの一部製品の工程で品質保持と粉じん発生防止のために、空気輸送装置の導入を行います。製造から包装まで密閉され、製品品質維持と労働環境の改善につながります。



● 日本アトマイズ加工株式会社が特別高圧受電設備を導入

子会社の日本アトマイズ加工株式会社のつくば工場(茨城県牛久市)では、9月に特別高圧受電設備を導入しました。これによって、これまで6,000Vの高圧受電方式から60,000Vの特別高圧受電方式となり、大容量かつ安定した電源供給を受けられることとなります。電圧降下や停電を回避し、製品品質の安定化と生産効率の向上が図られるとともに、これからも成長が期待される電子部品市場向け製品の生産能力増強への展開に際しても、対応可能な電力供給体制が整いました。



会社概要 (2021年9月30日現在)

社名	日本精鉱株式会社 NIHON SEIKO CO., LTD.
設立	1935年6月11日
本社所在地	東京都新宿区下宮比町3番2号 電話03-3235-0021(代表)
資本金	10億18百万円
事業内容	各種アンチモン製品等及び 各種金属粉末等の製造・販売
証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人
従業員数	連結 237名 単体 86名
連結子会社	日本アトマイズ加工株式会社 千葉県野田市 (各種金属粉末等の製造・販売) 日錫精礦(上海)商貿有限公司 中国上海市 (各種アンチモン製品等の販売)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-232-711 (フリーダイヤル)
株式に関するお手続きについて(住所変更・買取請求等)	1. 証券会社等の口座をご利用の場合 お取引の証券会社等にお問い合わせください。 2. 証券会社等の口座をご利用でない場合(特別口座) 三菱UFJ信託銀行(電話0120-232-711)までお問い合わせください。
公告方法	電子公告< https://www.nihonseiko.co.jp > (ただし、やむを得ない事由によって電子公告ができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。)



第127期 中間報告書

2021年4月1日～2021年9月30日

株主の皆様へ

日本精鉱グループは
たゆまぬ改善による
事業基盤づくりを
おこなってまいります



代表取締役社長
渡邊 理史

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループ第127期上半期(2021年4月1日～2021年9月30日)においては、海外経済の回復を背景とした輸出の増加及び設備投資や住宅投資の持ち直しなどを受けて、自動車や電気機器などの製造業の生産活動が回復基調となりました。また、テレワークなどに代表される仕事や業務の効率化と働き方の改革を目指すデジタルトランスフォーメーションに活用される電子機器産業は引き続き堅調さを維持しています。一方、海上輸送用コンテナ不足などにより、海上運賃の高騰や港湾混雑による海上輸送の遅延が生じており、コストアップ要因となっています。

このような環境下、当社グループは感染予防対策を実行しつつ、お客様のニーズに即した製品の安定的な生産を行いながら、国内外での販売力の強化に努めるとともに、コストダウンの実行、製造力及び技術力の向上、様々な工程や業務での無駄の排除及び改善などに取り組んでまいりました。

これらの結果、当期上半期の連結売上高は前年同期比77.8%増収の8,767百万円、営業利益は同168.7%増益の1,302百万円、経常利益は同166.6%増益の1,292百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同166.2%増益の897百万円となりました。

当期の中間配当金につきましては、前期中間配当金から25円増配し、1株当たり50円とさせていただきます。

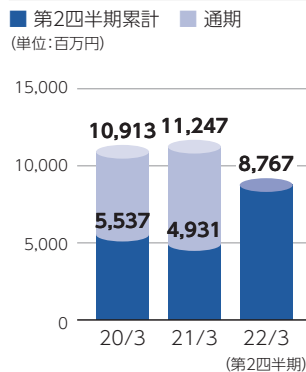
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2021年12月

連結財務ハイライト

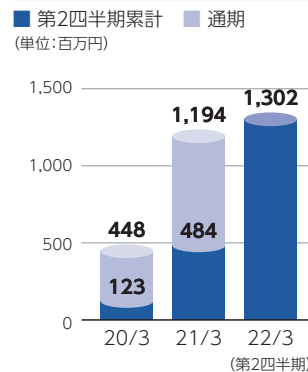
● 売上高

8,767百万円



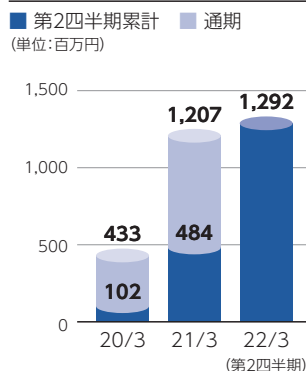
● 営業利益

1,302百万円



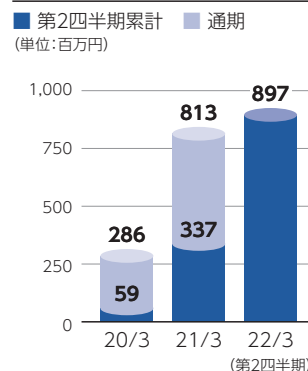
● 経常利益

1,292百万円



● 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

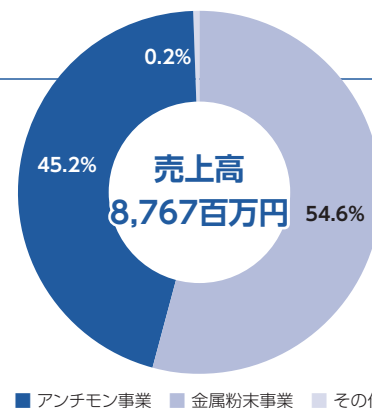
897百万円



セグメント別概況(連結)

● アンチモン事業

主要製品の三酸化アンチモンは難燃助剤や触媒として、広範な産業分野に使われています。自動車や電気製品など製造業全般で需要が回復し、原料アンチモン地金が需給の逼迫により、価格が上昇した影響で大幅な増収増益となりました。売上高は前年同期比85.6%増の3,961百万円、セグメント利益は同3251.4%増の431百万円となりました。



● 金属粉末事業

電子部品向けはテレワークや教育などのオンライン化の普及とDX推進によりパソコンやスマートフォン、データセンターや5G通信網の需要が増加しました。粉末冶金向けも自動車などの需要が堅調に推移し、全体で大幅な増収増益となりました。売上高は前年同期比71.9%増の4,790百万円、セグメント利益は同87.2%増の854百万円となりました。

連結財務諸表

● 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間 (2021.9.30)	前連結会計年度 (2021.3.31)
資産の部		
流動資産	8,988,939	7,759,378
固定資産	4,550,294	4,453,704
(有形固定資産)	4,045,564	3,966,821
(無形固定資産)	78,979	81,404
(投資その他の資産)	425,749	405,477
資産合計	13,539,233	12,213,082
負債の部		
流動負債	3,908,145	3,588,645
固定負債	854,175	658,020
負債合計	4,762,321	4,246,665
純資産の部		
株主資本	8,733,294	7,934,050
その他の包括利益累計額	43,617	32,366
純資産合計	8,776,912	7,966,417
負債純資産合計	13,539,233	12,213,082

● 四半期連結損益計算表(要旨)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (2021.4.1～2021.9.30)	前第2四半期連結累計期間 (2020.4.1～2020.9.30)
売上高	8,767,261	4,931,909
売上総利益	1,808,539	921,475
営業利益	1,302,484	484,725
経常利益	1,292,110	484,701
税金等調整前四半期純利益	1,292,684	483,620
四半期純利益	897,129	337,022
親会社株主に帰属する四半期純利益	897,129	337,022